

兵庫県保険医協会 尼崎支部第53回総会・市民公開寄席特別企画

落語&トークの夕べ

仏教・医療から考える “生きづらさ”の支えかた

参加無料

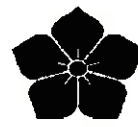
日時 2024年7月27日(土) 16:00～18:00 (15:30開場)

会場 尼崎商工会議所 7階 (尼崎市昭通3丁目96 阪神尼崎駅徒歩3分)

Tel: 06-6411-2251

出演

つゆ まるこ
露の団姫 さん



落語家・天台宗「道心寺」住職。2005年露の団四郎に入門。主に古典落語・自作の仏教落語に取り組んでいる。2021年尼崎市に「道心寺」を開山。年間250席以上の高座と仏教のPRを両立し全国を奔走。好きな言葉は「一隅を照らす」(伝教大師・最澄上人)

おかもと しんご
岡本 真吾 先生

精神科医。むこのそう心の診療所(南武庫之荘1丁目)院長。金沢大学医学部卒。西淀病院、吉田病院、奈良市保健所嘱託医を経て、ありまこうげん診療所院長。これまで官民合わせて10事業所を超える産業医経験やメンタルヘルス顧問医実績あり。2024年2月むこのそう心の診療所開院

1998年から3万人を連続して超過してきた年間自殺者数が、2020年から3万人を下回り減少傾向でしたが、再びコロナ禍では増加に転じ、現在でも年間2万人を超過しています。今回は、僧侶として悩みを抱える方の相談活動や、自殺防止の発信をされている落語家の露の団姫さんと、精神科医としてメンタルヘルス向上を目指した幅広い活動を活かして診療されている岡本真吾先生に講演をいただきます。また、お2人の対談や団姫さんの落語もお楽しみいただきながら、“生きづらさ”の支え方について考えたいと思います。ぜひご参加ください。

(兵庫県保険医協会尼崎支部長 綿谷 茂樹)

お問い合わせは、TEL: 078-393-1805 兵庫県保険医協会 尼崎支部担当事務局沖野・石本まで
【尼崎支部第53回総会 7/27】 FAX: 078-393-1802(切り離さずご返信ください)

総会議事(15:30～15:55) ご出席 ご欠席(総会の一切を議長に委任します)

市民公開企画 落語&トーク(16:00～18:00) ご出席()人

懇親会(18:15～) ご出席 ※会場: 尼崎市中小企業センター1階13号 参加費無料

お名前 _____ 医療機関名 _____
TEL _____ FAX _____

兵庫県保険医協会 尼崎支部ニュース

441号

2024年6月25日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階 兵庫県保険医協会 尼崎支部
TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

第103回評議員会 尼崎支部 長谷川評議員からの発言

かかりつけ医の使命を全うできる診療報酬を

協会が5月19日に開催した第103回評議員会で、尼崎支部から長谷川吉昭評議員が発言した(代読・綿谷茂樹理事)。発言の要旨を掲載する。

【発言】

特定疾患療養管理料の適応病名から高血圧、高脂血症、糖尿病が外れるという診療報酬改悪のインパクトはわれわれ保険医の経済的損失だけではありません。現に医学部の新設まで行い医師の数を増やす施策にも関わらず、若手医師は自費医療や美容医療へ魅力を感じ、地域医療のなり手は減少の一途です。高血圧などは生活習慣病管理料で管理せよという指摘は一理あります。そもそも特定疾患療養管理料とは何でしょうか、慢性疾患を継続して管理指導していくものであれば慢性腎不全が適応できない、ギランバレー症候群など希少な疾患で適応となるこの管理料自体の存在が不思議です。少子高齢化、人口減少、財政逼迫、現役世代の負担を考慮すると保険制度の見直しを考えることは当然のことです。各施設の加算の状況にもよりますが、ある日を境に同じ診察、同じ処方、同じ診療報酬が半額になるという愚策は長年地域医療を行って来た医師にとっては身と心を蹂躪された気がします。



長谷川吉昭評議員

20年前に保険医協会の大御所より聞いたエピソードですが「昔はね一週間以上の処方を出したら役所に呼ばれて怒られた、君は患者をちゃんと診ていないだろうってね」ということを思い出します。それがいつの間にか1週間毎に単に同じ薬を出しているだけであれば手間は減りますが、オンライン診療推進やリフィル処方箋で十分だという発想は医師の裁量や責任感がないがしろにする行為です。高血圧という病名だけの患者さんであっても、体調を開き、季節による血圧の変動に注意し、健康診断結果を一緒に見て、介護が必要なら連携を取り、休みであってもせめて電話だけでも対応される先生はたくさんいます。それがかかりつけ医としての使命と自負です。管理してもらい同意書にサインをもらい支払い分の責任を医師に果たさせないという発想こそ、医に仁術はいらぬ算術のみという施策ではないかと考えます。

尼崎社会保障推進協議会が介護保険学習会

介護保険の充実が市民の願い 国は異次元の財政出動を

尼崎支部が加盟する尼崎社会保障推進協議会(尼崎社保協)は、5月11日(土)に尼崎市内で学習会「どうなる?! 介護保険 介護報酬改定の問題点と狙いとは」を開催し、78人が参加した。大阪社会保障推進協議会介護保険対策委員長の目下部雅喜先生が講師をつとめた。



尼崎社保協会長の綿谷茂樹先生

最初に尼崎社保協会長の綿谷茂樹先生が、「今回の介護報酬改定で事業所はさらに苦しい経営にさらされる。一番困るのは利用者の方であり介護を受けられなければ健康状態が悪化する。私たちはどうすればよいのか、一緒に考えて運動していきましょう」とあいさつした。

講師の目下部先生は、2023年の介護事業者の倒産は過去2番目となるなど介護現場は待ったなしの危機的な状況にあり、その根本原因は低すぎる介護報酬にあると指摘した。にもかかわらず、今春の介護報酬改定は+1.59%にとどまり焼け石に水にもならないもので、さらなる倒産が起きると警鐘を鳴らした。とりわけ訪問介護は、赤字事業所が4割以上を占めているにもかかわらず引き下げられ、現場から「訪問介護の担い手の誇りを傷つける無慈悲な判断」との批判が巻き起こっており、緊急に再改定が必要と述べた。また政府は、利用者負担2割の拡大・ケアプランへの自己負担導入・軽度者(要介護1・2)の総合事業移行について、2027年度までに結論を出すことにしていると解説。これらの改悪を許さない運動を提起した。



熱心に報告を聞く参加者

目下部先生は、尼崎市介護保険の特徴についても詳しく解説。介護保険料(基準月額)が2024年から約900円も引き上げられ7,493円になること、特別養護老人ホーム待機者が180人いるが今後3年間で定員増は29人のみ、介護老人保健施設は150人減の一方、有料老人ホームは200人増を目標にしていることなどを指摘、尼崎市は高齢者の安心できる居場所づくりをすべきとした。

最後に目下部先生は、こうした状況を改善するためには介護への「異次元」の財政出動で、①介護現場の抜本的な賃金と労働条件の引き上げ、②25%に留まっている国庫負担金の50%への引き上げ、③利用者の負担増や介護サービス削減の中止を求めた。また、2024年度政府予算で介護は3兆7188億円で前年度1%増にすぎない一方、防衛費は7.9兆円でこの2年間だけでも2.5兆円増と告発、全国各地で社会保障にお金を回させる運動を強めようと呼びかけた。

参加者からは、「ヘルパーをしているが、さまざまな制限があり十分なケアができない。安心して利用してもらえる制度にしてほしい」「生活は苦しくなる一方なのに介護保険料が引き上げられるのは納得できない」「介護保険の充実が市民の願い。政治を変えないといけない」などのたくさんの感想が出された。

— 第597回幹事会だより —



- 尼崎支部の会員数
5/1 現在 内科 372人、歯科 170人 5月30日(木) 於: 尼崎市医師会館会議室
- 医療をめぐる情勢と運動対策
共済普及・組織強化月間に向けた未入会医療機関・病院勤務医対策、今後の支部企画として医療と福祉を考える会、支部総会市民公開企画・医科歯科連携研究会について討議し、今回の診療報酬改定での医療機関への影響について意見交流した。
- 6月日程 6月20日(木) 16:00 ~ 尼崎市医師会館会議室
お問い合わせはTEL 078-393-1805 沖野・林・石本まで
支部会員の先生方へ

未入会のお知り合いの先生、ご子弟に入会を是非おすすめください

— 第105回医療と福祉を考える会のご案内 — 医療と介護の勉強会 i-kai 共同開催

医療・介護・介護にかかわるすべてのひとに知ってもらいたい
知っているようで知らない

介護ベッドの選び方と使い方

日時: 6月27日(木) 18:00 ~ 19:30
会場: アマルネス・ガーデン5階 西長洲町2-35-1(阪神尼崎駅から徒歩10分)
講師: フランスベッド株式会社 参加費: 無料

今回は介護ベッドを選ぶポイントや使い方などを、フランスベッド株式会社様よりご説明いただきます。下記の介護ベッドの展示も行います。

<フロアーベッド>

高さを11cm~61cmまで設定ができるので、布団感覚でもご使用いただけるベッドです。環境の変化に敏感な認知症の方でもご使用いただきやすい仕様です。

<マルチポジションベッド>

従来のベッドの機能に加えて「座る」「立つ」ことに関して機能を進化させたベッドです。ご自身での立ち上がりなど自立支援、介助者の負担軽減のどちらも兼ね備えた仕様です。座る姿勢に関しては背もたれがありつつ床に足をつけることができるので、リハビリや誤飲の防止に役立ちます。

また、アマルネス・ガーデン様からは、兵庫県内で最初に導入された最新のリハビリ機器「スペースワンダー」のご紹介もお願いしています。

「医療と福祉を考える会」は医療、看護、介護に関わる方々に職種を超えてお集まりいただき、ざっくばらんに話しあい、学習する場として開催しています。お気軽にご参加ください。

(わたや整形外科 綿谷 茂樹・i-kai 会長 小島 真司)

お問い合わせは、兵庫県保険医協会事務局 沖野・石本・林 TEL: 078-393-1805 まで